# do it pro bono.

## サービスグラント 年次報告書2012

[2012年4月1日-2013年3月31日]



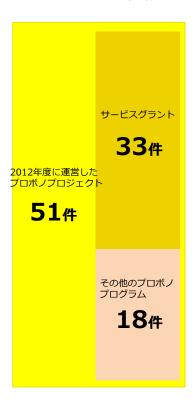
#### highlight

2012年度のプロボノプロジェクト 実施件数は51件となりました。 うち、ウェブサイト、事業計画立 案等8つのメニューからなる「サー ビスグラント」が33件です。

⇒ サービスグラントについては P.4 をご覧ください プロボノワーカーのスキル登録者数は1,658名となり、3年連続で年間400名以上の増加となりました。

⇒ プロボノワーカーについては P.6 をご覧ください 21件の自主事業とともに、企業との協働により23件、行政との協働により7件のプロジェクトを実施しました。

⇒ 行政との協働は P.8-9を 企業との協働は P10-11を ご覧ください







#### 目 次

はじ	じめに  2012年度の総括	3
1	サービスグラント	4
2	日本各地に広がるプロボノへの関心と実践	8
3	広がる企業との協働	10
4	プロボノフォーラム	12
5	国際的ネットワーク	13
6	情報発信実績	14
7	会計報告	15
8	理事より	16
9	支援先NPO一覧	17
付銀	录 プロボノワーカーへのアンケートより	19

#### はじめに | 2012年度の総括

2008年以前は、わずか数十万円の事業規模で、年間で数団体のNPOしか応援できなかった非力な活動が、いまは東京と関西に専従・パートタイム・契約スタッフまで含めると10名のスタッフを擁し、年間50件を超すプロボノプロジェクトを運営するところまでたどり着きました。そうした活動の進展に応じて、サービスグラントの実力もまた、より問われるようになってきていると感じます。

第一に、組織運営に関しては、2009年度以来3ヵ年にわたって支援を受けた日本財団の助成金が終了し、事業収入のみによる運営に取り組む、いわば、財政的にひとり立ちをする最初の年となりました。3年間にわたる日本財団の支援には、改めて感謝の意を表したいと思いますし、2012年度の1年間を無事に終えることができたのは、助成期間中にサービスグラントが一定の基盤を築くことができたことの証しでもあると思います。

サービスグラントがどのように収入を得ているか、は、実は、多くの人から最もよく尋ねられる質問です。その答えは、この報告書でもご紹介する企業や行政の皆さまとの協働事業収入によって、サービスグラントの運営は成り立っています。と同時に、サービスグラントはそのようなスポンサーがつかない、一見、経済合理性という観点からすれば説明がつかないようなプロボノプロジェクトを数多く実施していることも事実です。お金がなければNPOの運営は安定しませんが、お金がなくても前に進もうとすることがNPOとしての活力を生むものであることもまた事実です。活動の広がりと収入とのバランスを維持しながら、今後どのように発展していけるのか。正念場はこれからです。

第二に、上記とも関連しますが、2012年度は、拡大するサービスグラントの活動に堪えうるような、組織体制そのものの強化が課題となる年ともなりました。マネジメントの強化、業務の効率化、システムの改善、スタッフ全員参加での事業計画の検討など、さまざまな方策を模索しています。いろいろ取り組んでいるようですが、成果については道半ばですが、こうした試行錯誤も、この先へ進むための準備過程であると位置づけ、組織体制強化にじっくりと取り組んでいきたいと思います。

第三に、実は、2012年はイベントの年でした。サービスグラントでは、毎月のように100人規模またはそれ以上のイベント運営に関わりました。100プロジェクト達成を記念して開いた、朗読劇風の表現に挑戦した「プロボノシェアター」をはじめ、日本各地4ヵ所で開催した「プロボノフォーラム」、その他、プロボノをテーマにしたセミナーや、関西エリアでは「大人の社会科見学」などのイベントが頻繁に行われました。数多くのプロボノワーカーやNPOの皆さまとの関わりを持つ機会に感謝しつつも、その一歩外に出ると、まだまだ「プロボノ」という言葉すら知られていない現実が広がっています。プロボノという、この社会参加の新発想が、2020年には"ふつうのこと"になっているためには、これからも、よきプロボノの在り方を積極的に発信し続けることが求められていると感じています。

縁あってこの年次報告書を目にすることになった皆さまには、機会があれば、プロボノの可能性に思いを巡らせ、プロボノというアイデアを周囲に広める役割を担っていただくことをも、期待したいと思います。

2013年 6月 特定非営利活動法人サービスグラント 代表理事 嵯 峨 生 馬



#### 1|サービスグラント

#### プロジェクト数が100を突破!

2012年度は、東京・関西あわせて計33件のプロジェクトを実施しまし、2012年度末時点で、サービスグラントのプロジェクト件数は、累計114件となりました。そのうち、2年目となった関西では、2011年度の6件から2倍の12件のプロジェクトを実施しました。

プログラムの種類は、これまでも多くの支援を実施してきたウェブサイトが17件と最も多いプログラムですが、それに続き、2012年度より開始した事業計画立案が5件、寄付管理が3件、2011年度より開始した業務フロー設計が4件となり、これまで支援件数の多かった情報発信に関する支援に加え、業務改善や事業戦略に関する支援を実現しました。

※支援先団体一覧については、巻末に掲載

#### 8種類に充実のプロボノプログラム

従来、支援の中心となっていた情報発信支援に加え、組織基盤強化の二ーズが高まっています。2012年度は、新たに2つのプログラム「寄付管理」「マーケティング基礎調査」を追加し、計8種類のプログラムの提供を開始しました。NPOの現状の課題に応える支援につながるよう今後もプログラム開発に取り組んでいきます。

#### ウェブサイト

必要な情報を読み手の視点に立って整理 し効果的に情報を伝えていく機能性と、 デザイン性を兼ね備えたウェブサイトを 構築

#### 印刷物

さまざまなステークホルダーに向けて NPOの活動を効果的に伝えていくため、 必要最小限の言葉とビジュアル要素から 成る効果的なパンフレットを制作

#### 業務フロー設計

業務を整理し、適切な情報発信や効率的 な対応業務を実現するために業務フロー を改善し、必要な業務ツール類を制作

#### プログラム運営マニュアル

一部の限られたスタッフのみがノウハウを持っている業務を整理し「マニュアル」を制作。業務効率の向上や新人スタッフ等に活躍の機会を広げ事業を水平展開していく基盤整備を支援

#### 営業資料

企業との連携・協働の実現に向けて、企 業へのアプローチ手法の検討や、企業に 魅力を感じていただけるような提案内容 の検討を踏まえた営業資料を作成

#### 寄付管理

認定(または仮認定)取得を目指すNPO 法人を対象に、経費処理および寄付者管 理の業務課題の分析、改善提案ならびに 必要な業務ツールを提供

#### 事業計画立案

外部環境を客観的に分析して、どのよう に外部環境に対応し、社会課題の解決に 寄与していくべきかを中長期的な視点で 検討し、事業計画を提案

#### マーケティング基礎調査

NPOの活動に関する利用者や支援者からの評価の客観的調査、競合・類似サービスの調査など事業環境、市場環境の調査を通し、プログラムの改善方針、事業展開について提案

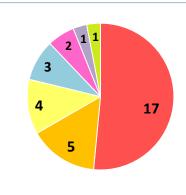
サービスグラント プロジェクト件数

33件

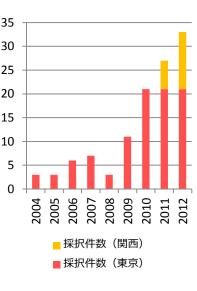
前年比 +6件 累計 114件

NPOの活動計算書上の金銭換算値

1億2000万円相当



- ウェブサイト
- 事業計画立案
- 業務フロー設計
- ■寄付管理
- 印刷物
- ■マニュアル
- ■営業資料
  - (図1) 2012年度プロジェクトの 提供成果物の種類内訳



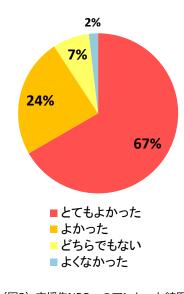
(図2) 年度別・採択件数の推移

#### 高水準のNPO満足度とNPOにおける具体的変化

プロジェクト完了後に実施しているアンケートから、91%のNPOより「サービスグラントを受けてよかった」という回答をいただきました。また、プロジェクト完了半年後以上経過したNPOへの2次アセスメントでは、広報プログラム(ウェブサイト、印刷物)の27団体のうち、24のNPOにおいてウェブサイトへのアクセスの増加や会員増加などの変化があったという報告がありました。

#### 【NPOからのコメント】

- ・月間のアクセス数が400件から3,000件に増えました。また、「問い合わせフォーム」を使って、ワークショップ、ボランティアなど、問い合わせが増えました。
- ・ウェブサイトをオンラインで管理することができるようになったため、 インターネットが繋がる環境であればどこにいても記事の更新が可能にな り、更新が行いやすくなりました。

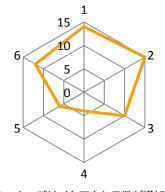


(図3) 支援先NPOへのアンケート結果

#### 金銭換算値を算出し「活動計算書」に対応

2012年度から、NPO法人の会計基準が変更となり、従来の収支計算書等から、活動計算書による報告へと切り替わりました。そして、活動計算書には、従来の収支計算書では表現されることがなかった物品寄贈やボランティアなど、NPO特有の項目についても記載できるようになりました。このような動きを踏まえ、サービスグラントにおいても、もし仮にプロボノサービスと同等のプロフェッショナルサービスを、一般の市場価格を基準に有償で提供したとしたら、そのサービスがいくらぐらいになるのか、について目安を提示させていただくこととしました。

サービスグラントの種類	活動計算書上の金銭換算値
ウェブサイト・サービスグラント	4,000,000円
印刷物サービスグラント	3,500,000円
営業資料サービスグラント	3,500,000円
事業計画立案サービスグラント	3,500,000円
業務フロー設計サービスグラント	3,000,000円
プログラム運営マニュアル・サービスグラント	3,500,000円



- 1 ウェブサイトアクセス数が増加した
- 2 問い合わせが増えた
- 3 寄付・協賛の申込があった
- 4 メディア掲載があった
- 5 活動参加者数が増えた
- 6 会員増につながった

(図4)ウェブサイト・印刷物サービスグラントを提供したNPOにおけるプロジェクト後の変化

#### プロボノワーカーは476人増

#### ・プロボノワーカー数の推移

サービスグラントにスキル登録をいただいたプロボノワーカーは、2012年度、新たに**476名**を数えました。

2011年末に登録者数1,000名突破後もコンスタントに増え続け、2012年度末時点での累計のスキル登録者数は**1,658名**に上りました(図1)。この結果、2010年度より3年連続で毎年度400名以上のご登録をいただいています。

#### • 分野別内訳

#### 1) 社会人年数別

幅広い世代からご登録をいただいていますが、特に社会人年数5~10年、10~14年を中心に、20代後半~40代の働き盛りのビジネスパーソンに数多くご登録いただいています(図2)。

#### 2) 男女別

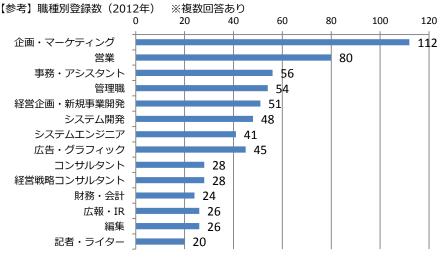
男女比については、やや男性の方が多いものの、ほぼ半々という構成となっています(図3)。

#### ・ご登録ポジション

立ち上げ当初よりマーケッターのご登録数が一番多い中、同じマーケッターでも職種の内訳が年々変わりつつあり、以前はマーケティング部に所属される方が大半だったのに対し、今年度は営業職、さらに事務など一般職の方のご登録が目立ちました。より幅広い職種の方にご参加いただけるようになってきています。他には事業計画立案プロジェクトの立ち上げに伴い、ビジネスアナリストの登録も急増しました。

#### ・プロジェクト参加者数

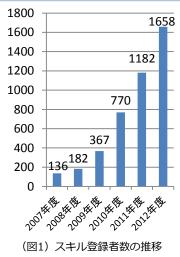
今年度はNPOへの支援プロジェクト数も100を越え、東京・関西合わせて累計で400名以上のプロボノワーカーの方にプロジェクトへご参加いただきました。今後もより多くのNPOニーズに応えるべく、プロジェクトの実施件数増加を進めて参りますが、ご登録いただいたプロボノワーカーの皆さまの中には、ご参加の機会を提供できていない方がいらっしゃることも事実です。1つでも多くのプロボノプロジェクトの立ち上げを通じて、プロボノワーカーとその力を必要とするNPOとのマッチングを進めていきたいと考えています。

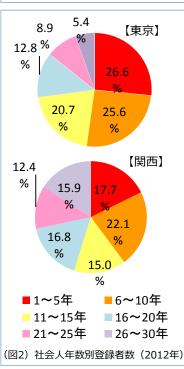


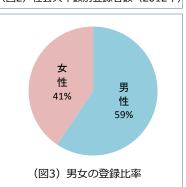
プロボノワーカー スキル登録者数

1,658名

前年比 +476名







#### プロボノワーカーの募集と交流機会の創出

#### ・プロボノワーカー説明会

東京、関西とも月3~4回ペースで説明会を開催。説明会後にはプロボノを通した異業種交流として名刺交換タイムも設け、人脈作りにも繋がる場となりました。説明会への参加動機として、社会貢献に興味を持ち"プロボノ"という言葉に触れ、サービスグラントの活動スタイルに共感されてのご参加者が多く見受けられました。また昨年度に引き続き、東日本大震災を機に社会貢献に関心を持った方も多くいらっしゃいました。

#### ・AD会

アカウントディレクター(AD)登録をされたプロボノワーカーの皆さまを集め、4カ月に1度の頻度でAD会を開催。豊富なマネジメント経験をお持ちであるADの皆さまに対し、プロジェクト運営における課題点を提示、ディスカションを通して課題解決の方向性についてアドバイスをいただきました。

#### ・プロボノワーカーLOUNGE

今年度は関西エリアにて7月、9月、11月に開催しました。進行中のプログラムの活動報告も行いながら、「プロボノ」をキーワードに集う多才な皆さまのリアルな交流が繰り広げられました。また、東京エリアでは、100プロジェクトを記念した特別企画「プロボノシェアター」に際して、100名以上が参加した「ダイアログパーティー」を開催しました。

#### ・大人の社会科見学 in OSAKA

関西のプロボノワーカーによって企画運営されているユニークな勉強会イベントです。「児童虐待」「LGBT」「ひとり親」「地域福祉×デザイン」など、社会的な課題について取り上げ「楽しく」「まじめに」"ホントのところを見つめる"をテーマに2012年度は計8回開催。各分野に取り組むスペシャリストをゲストに、延べ314名にご参加いただきました。

#### 「サービスグラントに良い印象を持っている」92%

プロジェクトにご参加されたプロボノワーカーに対しアンケートを実施し、満足度の高さが伺えました。

- 92%の人が、サービスグラントへの参加について「良い印象を持っている」と回答しました。
- 82%の人が「またサービスグラントに参加したい」と回答しました。
- 84%の人が「サービスグラントを他の人に勧めたい」と回答しました。
- サービスグラントに参加したことによる変化として、次のような回答が 得られました。
  - ⇒「自身の視野が広がり、人間的な成長につながった」86%
  - ⇒ 「社会問題やNPOに対する見方や考えが変わった」61%
- ★ 2011~2012年度に参加したプロボノワーカーの方の声を集めた「プロボノセンサス2013」を公開しています。詳しくはこちらをご覧ください。

http://servicegrant.or.jp/program/probonocensus2013.php



説明会後の写真撮影。説明会後7割以上の方にスキル登録いただいています。



ダイアログパーティーでは、シェアター で取り上げられたテーマの議論を中心に 異業種交流の場として盛り上がりました



同時期に進むプロジェクトの進捗や状況 などを共有する貴重な場となっているプロボノワーカーLOUNGE。



今年開始の大人の社会科見学 in OSAKA. NPOなど社会課題に取り組むスペシャリストをゲストに毎回異なるテーマを取り上げ、学び、交流するイベントです。

#### 2 日本各地に広がるプロボノへの関心と実践

#### 各地に広がるプロボノコーディネート団体

サービスグラントでは、日本各地で活動する中間支援型NPOの皆さま等を対象に、プロボノプロジェクトの運営方法をお伝えする実践型研修プログラムを2011年度からスタートしています。

昨年度の広島・佐賀の2地域につづき、今年度は、福岡・岡山・静岡の3地域から研修参加者を受け入れました。研修は、約1ヵ月間にわたり、サービスグラント渋谷事務所で行われました。期間中、サービスグラントが整備している各種資料をはじめ、プロジェクト管理の方法、データベース等の操作方法などへの理解を深めました。また、プロボノワーカー説明会やNPOの採択に向けた審査、進行中のプロボノプロジェクトに同席し、サービスグラントの様子をリアルに体感していきました。

#### 全国で動き出すプロボノプロジェクト

プロボノコーディネート人材研修を受けた団体は、研修で得たノウハウを さっそく実践に移しています。

2012年度は、全国5地域で13件のサービスグラントが各地のNPOに対して提供されました。

地域	プロボノコーディネート団体	プロジェクト件数
広島	ひろしまNPOセンター	2
佐賀	さが市民活動サポートセンター	6
福岡	プロボノアジア	1
岡山	岡山NPOセンター	3
静岡	ウィズダムバンク	1

#### ふるさとプロボノ - 被災地支援・伝統工芸支援

身近にプロボノワーカーが少ない地域に対して、大都市のプロボノワーカーが参加し、地域活性化等を応援する「ふるさとプロボノ」。2012年度は被災地の復興や伝統工芸の支援にチャレンジしました。

#### ・被災地復興支援プロボノ

企業との協働プロジェクトの一環として、日本電気株式会社およびパナソニック株式会社、それぞれの社員の皆さまにより、被災地で活動するNPO等を対象にプロボノプロジェクトを行いました。復興支援に関わりたいと考える社会人は依然として多く、被災地側のプロボノに対するニーズも大きいことから、今後もこうした取り組みの継続が求められています。

#### ・WAOクリエイティブプロボノ

サービスグラントの理事でもあるファッションジャーナリスト生駒芳子さん主宰のプロジェクト「WAO」と連携し、伝統工芸を対象に、新商品開発に向けたマーケティング調査、商品企画、提携先の開拓・交渉などをサポートしています。

 地域パートナー団体数とプロジェクト件数

 5 地域

 13 件

 ふるさとプロボノ (遠隔地型プロボノ)

 5 件

 伝統工芸支援 (WAOプロボノ)

 2 件

行政との協働 プロジェクト

7 件

前年比 +5 件

#### 大阪ホームタウンプロボノ

大阪市では、活力ある地域づくりに向けて、各種地域団体や企業、NPO等、多様な主体が、地域社会の将来像を共有しながらそれぞれ特性を発揮し、校区等地域におけるさまざまな地域課題に取り組めるよう、自律的な地域運営の仕組みづくりを支援する中間支援組織が求められていました。地域内の人的資源の制約を超えて、新しい取り組みにチャレンジしようとする意欲的な地域の皆さまを、地元・大阪で活躍する企業人等がプロボノで応援するプロジェクトとして「大阪ホームタウンプロボノ」を設定し、地域コミュニティづくりを支援する全国初の「プロボノ」の取り組みをスタートしました。

大阪ホームタウンプロボノでは、地域づくりの担い手である地域活動協議会を、サービスグラントがこれまでに培ったノウハウを用いて支援するほか、地域コミュニティに共通性の高い地域課題をテーマで調査研究をするプログラムを作り、地域コミュニティづくりを支援する新しい形を提案しました。

大阪ホームタウンプロボノプログラムでは、3期に分けて支援先を決めており、現在第2期までのプロジェクトが開始しています。

時期	地区名	プロボノプロジェクトの内容
第1期	鶴見区緑	子育て支援に関する事業計画立案
	鶴見区榎本	ホームページのリニューアル
	大阪市全域	廃校の利活用に関する事例調査
第2期	港区磯路	老人憩いの家の有効活用策の検討
	西淀川区出来島	盆踊りの活性化に関する事業計画立案
	東成区今里	地域の広報誌の制作
	東成区	区広報誌のマーケティング・改善提案

プロボノプロジェクトに関連して、多数のイベントを開催しました。 大阪ホームタウンプロボノへの関心を高めるため、プロボノワーカー説明会を10回以上追加開催したほか、地域を視察するとともに地域の人たちとの対話の機会となる「マチ歩き&チカツキョー懇談会」、地域活動協議会やプロボノの可能性について発信する場として「まちづくりの未来を考えるシンポジウム in Osaka」や「地活協フォーラム」などのシンポジウムの開催、さらに、関西事務局が連続して行っている勉強会「大人の社会科見学」では、対話式ワークショップの一つである「フューチャーセッション」という方法を取り入れて地域課題を掘り下げる企画、鶴見区長をゲストに迎え地域経営について議論する企画など、多彩な企画で数々のイベントを展開しました。



鶴見区榎本のホームページ・リニューアル に取り組むチームのミーティングの様子。



鶴見区緑では、地元住民が、子育て支援事業 の立ち上げを検討中。地域ニーズや事業モデ ルについて提案するプロボノチーム。



マチ歩き&チカツキョー懇談会の様子。プロボノプロジェクトに先立って、マチ歩きを行い、地域の皆さんと懇談しました。



城東区で開催された地活協フォーラム。区内 から、地域活動協議会の立ち上げや運営に関 心を持つ多数の区民が集まりました。

#### 3 企業との協働

NPOに対して無償でプロボノサービスを提供するサービスグラントの事業 運営には、企業の皆さまとの連携・協働が不可欠です。

社会貢献活動の一環として、あるいは、社員の人材育成機会として、サービスグラントと協働プロジェクトに取り組んだ企業の皆さまをご紹介させていただきます。

#### 日本電気株式会社

若手社会起業家育成のためのプログラム「NEC社会起業塾」等から輩出された起業家を対象に、社員がプロボノによる支援を行う「NEC社会起業塾ビジネスサポーター」の第3期が行われました。

今期は、初の被災地支援団体2団体を含む3団体へITコンサルティングサービスを提供。宮城県亘理町にて津波で流された防潮林の再生活動を行う一般社団法人ふらっとーほくに対しては、支援者をクラウドサービスを活用して管理することで組織の運営基盤強化につながる支援を行いました。

#### ゴールドマン・サックス

第三期を迎えたゴールドマン・サックス プロボノ・プロジェクトでは、乳幼児向けや大学進学を目指す子ども向けなど、様々な新しいチャレンジに取り組む児童養護施設「至誠学園」に対する支援を行いました。

プロボノメンバーは、施設内のマネジメント層からスタッフ層まで幅広い ヒアリングを実施。一人ひとりのニーズが複雑な児童養護施設において、分散した複数の拠点を運営する中で発生する組織運営上の課題を抽出し、意思決定や業務フローの改善策などを提案しました。

#### パナソニック株式会社

パナソニック株式会社では、NPOの組織基盤強化を支援する助成プログラム「Panasonic NPOサポートファンド」を創設し、これまでに219件のNPOに対し、累計2億6千万円の助成を行ってきました。こうした助成の実績をもとに2011年度にスタートした「Panasonic NPOサポート プロボノプログラム」では、過去に支援実績のあるNPOに対し、パナソニック社員からなる「社員チーム」を構成し、全国初となる「事業計画立案サービスグラント」の提供を含む計5団体をご支援いただきました。2012年度は、東京・大阪に加えて、東北の震災復興に向けた取り組みも実施しました。

#### 株式会社 三井住友銀行

株式会社三井住友銀行は、CSR活動の一環として、東京・関西の両地域において、社員参加によるプロボノ活動を推進しています。

特に、2012年度は金融機関らしさを活かした新たな取り組みとして、NPO の寄付管理を支援するプロボノプログラムをサービスグラントと協働で開発。「SMBCプロボノプロジェクト」として、3団体のNPOを対象に寄付金や経費の管理に必要な帳票や事務フローの整備、寄付者の情報整理やデータベースの整備など、NPO法人の業務基盤を強化するうえで不可欠な支援を提供しました。

企業との協働 プロジェクト **23**件 サービスグラント **14件** 独自プログラム

9件



3チーム合同イベントとして中間報告会・ 最終報告会を実施。チーム相互の交流や情 報交換の機会を持つことで、支援先が活用 しやすい成果物作成にもつながりました。



新たに開所した「大空の家」を含めると、大小9ヵ所の施設を運営し、約100名の子どもが暮らす至誠学園。ミーティングでは鋭い質問と熱気ある議論が繰り広げられました。



「NPO法人気候ネットワーク」を支援する パナソニック社員チームの皆さま。全国初 の事業計画立案サービスグラントとして、 会員獲得に向けた計画を提案しました。



「病気の子ども支援ネット」の寄付管理を サポートするSMBC社員の皆さま。同団体 は、今回のプロボノによる支援を活用し て、認定NPO法人の取得申請を実現しまし

#### **UBS**

(UBS証券株式会社、UBS銀行東京支店、UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社)
UBSでは、教育とアントレプレナーシップの2分野で、地域非営利団体とのパートナーシップを通じて、社員が参画し、そのスキルを活かした社会貢献活動を行っています。

2011 - 2012年度は、同社が支援する3つのNPO法人・児童養護施設にサービスグラントとして支援し、ウェブサイトの構築等を実現しました。

#### 日本アイ・ビー・エム株式会社

日本アイ・ビー・エム株式会社では、昨年度から2012年度にかけて、東京 を拠点に取り組んできたプロボノ活動を、全国各地の事業所に展開する取 り組みを行いました。

2012年度は札幌・広島の2地域で教育や障がい者の社会参加をサポートするNPOを支援。NPOが活動機会を広げるために必要なもっとも根本的な課題に着目し、その課題解決に必要な情報の収集とツールの作成を通じて、スマートなNPO運営を後押ししました。

#### 日本マイクロソフト株式会社

日本マイクロソフト株式会社では、ITを活用したNPOの基盤強化支援の一環として、サービスグラントと協働で新プログラム「業務フロー設計サービスグラント」を企画・開発し、2011年度より社員参加型プロボノプログラムとして取り組んでいます。2012年度は、NPOの業務フロー改善をテーマとするセミナーの開催や、新たに3団体のNPOを対象としたプロボノプロジェクトを実施。NPOの生産性向上や情報管理体制の強化につながる業務フローの改善提案と、マイクロソフト社製品を活用したツール提供などを行いました。

#### 株式会社 日立ソリューションズ

株式会社日立ソリューションズでは、社員の専門性を活かした社会貢献活動の一環として、2012年度に初めてとなるプロボノプロジェクトを立ち上げました。プロボノ活動に興味を持つ社員5名が集まり、中国と日本の市民社会の動きを伝える日中市民社会ネットワークのウェブサイトリニューアルに取り組みました。ウェブサイトのコンセプト作成、サイト構成設計を行うことで情報発信の強化に貢献しただけでなく、さらに団体のミッション・ビジョンを見直す機会にもなったと、NPOから高い評価をいただきました。



児童養護施設「筑波愛児園」のウェブサイト。施設で暮らす子どもたちの将来の夢とともに、施設運営の課題、支援方法などが、やさしいトーンのビジュアルでまとめられています。



IBM札幌事業所のチームは障がい者の就労機会提供に取り組む「札幌チャレンジド」を応援。障がい者のスキルを見える化し、受託事業の成約機会を広げる支援を行いました。



不妊に関する社会課題の解決に取り組む 「Fine」に対して、講演活動に関する業務フロー改善とともにクラウドツールを活かした 情報管理による効率化を提案しました。



日中市民社会ネットワークのみなさんとの キックオフの様子。同社のオンライン会議シ ステムを利用したミーティングも活用し、プ ロジェクトを進めていきました。

#### 4 | プロボノに関する広報活動

#### プロボノフォーラムOSAKA 2012

3年目を迎えたプロボノフォーラムOSAKAは、プロジェクトに参加したプロボノワーカーと支援を受けたNPOをゲストに迎え、プレゼンテーション方式で3組のプロボノ体験が語られました。

国内初となった「気候ネットワーク」の事業計画立案を支援するプロボノプロジェクトの報告や、西日本各地で相次いで開始となった他県でのプロボノの動きの中から、広島県と佐賀県のご当地プロボノについて紹介がありました。最後に、2013年から開始予定の大阪市ならではの地域密着型プロボノ「大阪ホームタウンプロボノ」に関する紹介もあり、プロボノの広がりや多様性を感じるイベントとなりました。

【共催】パナソニック株式会社

#### 各地で行われたプロボノフォーラム

日本各地で、プロボノコーディネート人材研修を受けた中間支援型NPOが中心となって、地域でプロボノに対する関心を高めるための場として、プロボノフォーラムが佐賀県、静岡県、広島県で開催されました。

各地のプロボノフォーラムでは、NPOやプロボノワーカーの方をゲスト講師として招き、NPO活動を行う上でのチャレンジや課題の提起、プロボノを実際に経験したプロボノワーカーによる体験談の発表などを交えながら来場者のプロボノに対する理解と関心を深める内容を展開しました。

# TITLIT

プロボノに関心のある社会人や学生、NPO関係者など約110名が参加しました。



佐賀市で開催されたプロボノフォーラム。県とNPOによる広報活動が奏功し、会場には100名を超える来場者が集いました。

#### プロボノシェアター2013

プロジェクト総数が100を超えたことを記念し、「プロボノシェアター2013」と題して、物語形式で社会課題を様々な視点からコンパクトに伝え共有するイベントを開催しました。シェアターとは、「シェア」と「シアター」を合成した造語。過去の支援団体さんが取り組む社会課題の中から、児童養護、不妊、路上生活者、労働問題、人権をテーマとして取り上げ、実際に課題に取り組むNPOスタッフやプロジェクトを通して支援したプロボノワーカーの方にもご登壇いただき、実話を元にしたストーリーを通して、現状をシェアしました。第2部としてダイアログパーティを開催。ジャンルの垣根を越え活発な交流が図られました。



シェアター終了後の記念撮影。210名もの方にご参加いただきました。

#### NPOのための業務フロー改善セミナー

7月8日、日本マイクロソフト株式会社セミナー会場にて「NPOのための業務フロー改善セミナー」を開催しました。当日は、NPO関係者、プロボノに関心のある企業関係者の方々、70名以上の方にご参加いただきました。各チームのプロボノメンバーとNPOのスタッフのみなさまよりプロジェクトの概要と業務改善に関する気付きやポイントなどを発表いただきました。また、ゲストコメンテーターとしてご登壇いただいた竹井善昭氏から、ビジネスパーソンがプロボノとして社会セクターに参画することの社会的インパクトについての期待いただき、プロボノの生の声とともにプロボノの意義について発信する場となりました。

【共催】日本マイクロソフト株式会社



4件の「業務フロー設計サービスグラント」プロジェクトには、計22名の社員に参加いただき、セミナー当日には支援先NPOスタッフ、プロボノメンバーにプロジェクトの感想を語っていただきました。

#### 5 国際的ネットワーク

#### **Global Pro Bono Summit 2013**

米国ニューヨークで開催された第1回Global Pro Bono Summitに参加しました。日本を含む世界12ヵ国からプロボノのコーディネート団体、さらに、米国内の中間支援団体30団体などが集まり、活気に満ちた5日間のプログラムとなりました。

弁護士など限られた業界内で取り組まれていた(職能や仕事の経験を生かしたボランティア)プロボノを「より多くのビジネスパーソンが効果的・現実的に社会課題に関わる仕組み化」し、提供しているTaproot Foundation。その先進事例を学ぶセミナーや、自国におけるプロボノ展開における課題や資金調達の方法について、参加者同士がアイディアを通わせるセッションなどが続き、プロボノの世界的な広がりに弾みをつけるプログラム構成でした。

中でも、建築家によるプロボノの実践事例や、データ解析の専門家によるプロボノ団体の訪問は、今後国内におけるプログラムの新たな選択肢としても示唆に富んでいました。さらに、企業300社以上を巻き込み、全米中のプロボノムーブメントの高まりを牽引している大規模キャンペーン"Abillion +change"のプレゼンテーション、及び、米国内の中間支援組織30団体以上が一堂に会し、「中間支援団体が200億ドルのプロボノマーケットを開拓するためには?」をテーマに、所属を越えて英知を結集するエネルギー、ダイナミズムには大きな刺激を受けました。

2010年のプロボノ元年以降、日本国内でもさまざまなプロボノコーディネートの団体が誕生しており、次なる目標は、今回のサミットのテーマである、"CO-DESIGNING THE PRO BONO MARKETPLACE"。そのステージ上でサービスグラントが牽引役となり得るよう、今回得た学びを糧に、中間支援としての専門性を高めていく決意を新たにしました。

#### ソウル市におけるプロボノセミナー

2012年9月に、韓国ソウルの社会貢献情報センター主催によるプロボノセミナーが開催されました。

韓国国内でも、サービスグラント代表の書籍も韓国語版が出版されるなど、プロボノに対する関心が高まりを見せており、プロボノのコーディネート団体なども活動を始めています。

当日は80名近い来場者が集まり、熱心に代表・嵯峨による基調講演と、プロボノ実践者の事例紹介に聞き入っていました。



第一回、NYで開催されたグローバルプロボノ サミット。日本を含む世界12か国から参加。



A billion +change.全米300社以上が サインアップし、プロボノに取り組むこと を「宣誓」するというキャンペーン共有。



建築家によるプロボノプロジェクトの紹介。



全米の中間支援組織が集い新たなマーケット 開拓について共に知恵を絞る様子。



ソウル市におけるプロボノセミナーの様子。平日昼間からが数の企業担当者やNPO関係者が参加しました。

#### 6 情報発信実績

#### ◆朝日新聞(千葉版) 2013年1月21日 ◆毎日新聞(神戸・阪神版) 2012年11月27日 ◆日本経済新聞(夕刊)2012年11月26日 ◆日本経済新聞(関西版)2012年8月24日 新聞 ◆佐賀新聞 2012年6月3日 ◆朝日新聞(大阪版)2012年5月23日 ◆読売新聞(九州版)2012年4月9日 ◆J-WAVE「LOHAS SUNDAY | 2013年3月17日 ◆TBS「サンデーモーニング」2013年1月13日 ◆NHK「時論公論 | 2013年1月7日 ◆ゆうちょ銀行会員誌「ときめきプラス」2013年春夏号 vol.1 ◆「ソトコト」 2013年4月号 No.166 ◆繊研新聞 2013年1月29日発行 ◆ワークライフバランス・ニューマガジン2012年11月号vol.4 ◆フィランソロピー 2012年10-11月号 ◆WIN WING 2012年9月 vol.19 ◆繊研新聞 2012年8月7日発行 ◆第2回 法科大学院全国統一適正試験出題 2012年6月10日 ◆日本IBM コーポレート・レスポンシビリティー・レポート 2012年度版 雑誌 ◆日刊工業新聞 2012年6月1日 ◆繊研新聞 2012年5月29日発行 ◆繊研新聞 2012年5月22日発行 ◆繊研新聞 2012年5月15日発行 ◆繊研新聞 2012年5月8日発行 ◆繊研新聞 2012年5月1日発行 ◆繊研新聞 2012年4月24日発行 ◆商店建築 2012年5月1日発行 Vol.57 No.05 ◆国際文化フォーラム通信 2012年4月号 No.94

#### ▼日本経済新聞(夕刊)2012.11.26



#### ▼毎日新聞(関西版)2012.11.27



#### ▼ときめきプラス 2013年4月発行







#### 7 | 会計報告

2012年度の財政規模は、2011年度から約134万円増の約3417万円の収入となり、税引後の収支差額は342,068円となりました。

[経常収支の部]			
【経常収入】			
1 事業収入	10 426 545		
(1) サービスグラント提供事業	18,426,545		
(2) 普及・広報事業	701,886	22.000.071	
<ul><li>(3) コンサルティング事業</li><li>2 正会員会費収入</li></ul>	14,839,640	33,968,071	
2 正会員会費収入 3 寄付金収入		60,000 146,782	
4 受取利息収入		4,805	
経常収入 計		4,003	34,179,658
(事業費) 「事業費」			34,179,030
(1) サービスグラント提供事業	15,160,797		
(2) 普及・広報事業	1,319,579		
(3) コンサルティング事業	4,830,951	21,311,327	
当期事業費・計	1,030,331	21,311,327	
合 計		21,311,327	
事業費、計			21,311,327
【管理費】			7- 7-
役員報酬		2,241,000	
法定福利費		1,642,694	
福利厚生費		2,790	
賞与引当金繰入		1,317,600	
外注費		384,684	
荷造運賃		740	
広告宣伝費		281,513	
会議費		42,639	
交際費		136,222	
旅費交通費		777,211	
通信運搬費		235,968	
消耗品費		782,432	
印刷製本費		60,180	
新聞図書費		2,100	
支払手数料		1,154,272	
地代家賃		2,292,000	
賃借料 (7.80/10)		44,100	
保険料		11,520	
租税公課		1,073,930	
減価償却費		42,668	12 526 262
管理費 計 経常収支差額			12,526,263 342,068
程帯収文差額 [その他資金収支の部]			342,000
【その他資金収入】			
その他資金収入計			0
【その他資金支出】			U
その他資金支出計			0
当期収支差額			342,068
前期繰越収支差額			1,491,974
次期繰越収支差額			1,834,042
			, ,

#### 8 | 理事より

#### 生駒 芳子 [理事] ファッションジャーナリスト

プロボノの力は日本の社会に根付き始めていると思います。私自身、最近、地方自治体と関わる仕事が増えてきているが、地方が直接世界とつながりたいという時代になってきているのではないでしょうか。プロボノの力は行政にも役立つと思うので、もっと自治体などに積極的に働きかけてみるのも一案です。また大学でファッションを教えていますが、大学も社会との接点を増やしていくべきだと思います。大学生と社会人がつながるための方法としても、プロボノが力を発揮する可能性があるのではないかと思います。

#### 中野 宗 [理事] 株式会社アークウェブ 代表取締役社長

サービスグラントの活動はますます幅広くなってきたと実感している。米国で開かれたグローバルプロボノサミットの報告で、短期プロジェクトの紹介があったが、これは日本でも検討する価値があると思う。さまざまなウェブサービスが林立する中で、団体のウェブサイトよりFacebookページの運用に注力するなど、伝えたいことや得たい効果から上手にツールを選ぶ例が増えている。実施までのスピード感も高まっている。サービスグラントが短期のプロジェクトにどのような体制で臨むことができるか、トライアルをしてみる価値はあると思う。

#### 金子 和夫 [理事] 金子和夫事務所株式会社 代表取締役

全国各地を回っていると、少子高齢化と経済のグローバル化が進んで、いよいよ地方が存続の危機に直面していることを痛感します。グローバル化の波にのっている勝ち組の都市は、地方のことを忘れないでほしいと思います。

地方に対する支援は、これまでに資金や社会基盤・施設は十分投資されていると思います。不足しているのは、地方の資源を活用して立ち上がる若い人材と、グローバル社会に通用するビジネス・ノウハウです。都市は地方を想い、ノウハウを伝えることで応援することができます。プロボノの考え方は素晴らしいと思います。ぜひ、地域再生にプロボノの力を活用していきましょう。

#### 奥山 俊一 [特別顧問] 株式会社日本総合研究所 特別顧問

サービスグラントが認定NPOを目指すのは喜ばしいことです。寄付者を募る上で、 役員の中にファンドレイジング担当を入れてみてはどうでしょうか。

私自身は、「プラチナギルド」というNPO法人を設立し、シニアの力を社会にどう生かすか、に関心を持っています。信念として、シニアは、現役よりも何倍も社会貢献できると思っていますが、どういう形がベストなのかがテーマです。今後もサービスグラントとも連携しながら、アクティブシニアのプロボノの形を模索していきたいと考えています。

#### 吉岡 直樹 [監事] 合同会社アンプラグ 代表取締役社長

当初は、お茶会の雰囲気から始まったサービスグラント活動だが、プロボノという言葉の認知はある程度のところまで来た。次のステップとして、行政に向けたコミュニケーション支援や、社会インフラに向けた直接的アプローチをする上でプロボノが有効ではないかと思う。ただ、もとから取り組んでいるベースの活動と新しい活動とが分離しないように、今までと同じあたたかいトーンにも気を配りながら進めて欲しい。先週名古屋にいる甥っ子から電話がかかってきて、就職したいがリアルに働き方が分からないと相談を受けた。甥っ子の口から、NPOという言葉が出てきて、そういった若い層が悩んでいる「働き方」についても、プロボノが関われるかたちが今後出来てくるのではないかと思った。行政、NPO、次世代の大学生など、層がいくつかあると思うので、どこにどう関わるのかもこれからのテーマではないかと思う。

※代表理事・嵯峨のメッセージは、3ページ「2012年度の総括」をもって代えさせていただきます。

### 9 | 支援先NPO一覧

2012年度支援先一覧 <東京エリア>(敬称略・50音順)		
<ウェブサイト>		
NPO法人 ICT救助隊	NPO法人 文化学習協同ネットワーク	
NPO法人 共存の森ネットワーク	NPO法人 みんなのことば	
NPO法人 社会的養護の当事者参加推進団体 日向ぼっこ	NPO法人 LightRing	
NPO法人 3keys	NPO法人 リカバリーサポートセンター ACTIPS	
日中市民社会ネットワーク		
<印刷物>		
NPO法人 子ども劇場東京都協議会	公益財団法人 日本ヒューマン・ライツ・ウォッチ協会	
<営業資料>		
NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム		
<寄付管理>		
NPO法人 野沢3丁目遊び場づくりの会	NPO法人 病気の子ども支援ネット	
NPO法人 子育てネットワーク・ピッコロ		
アースウォッチ・ジャパン		
NPO法人 ウィーキャン世田谷	NPO法人 視覚障害者パソコンアシストネットワーク	
NPO法人 キズキ	NPO法人 Fine	
NPO法人 鎌倉てらこや		

2012年度支援先一覧 <関西エリア> (敬称略・50音順)		
くウェブサイト>		
NPO法人 エスビューロー	NPO法人 トイボックス	
NPO法人 暮らしのネットワークづくり北芝	NPO法人 日常生活支援ネットワーク	
NPO法人 女性と子どもの支援センターウィメンズネット・こうべ	NPO法人 にしよど にこネット	
NPO法人 D×P	NPO法人 Homedoor	
<事業計画立案>		
NPO法人 気候ネットワーク	NPO法人 こどもコミュニティケア	
NPO法人 こえとことばとこころの部屋(ココルーム)	NPO法人 もなか会	

#### あなたに 「プロボノ」

小さなことをコツコツと 善を拡散する プラットフォーム ~ プロボノワーカー

チームカ

**ライフワーク** (としたいです)

第二の人生!

自分自身の新たな 可能性を見出すための窓 普段関われない 人たちとの架け橋

大人の部活

自分の再発見ができる チャンス

# にとってとは?

へのアンケートより ~

仕事でも遊びでもない、 別の充足感を 与えてくれるもの。 別世界への ナビゲーター

社会貢献と 自己成長

とても難しい 社会の勉強

とっても楽しい 出会いの場

ビジネスの世界と 社会貢献の世界の 橋渡し

新しい気付きを 提供してくれる 大切なもの

自分を成長させるも、 生き方に気づきを与えるもの。

W E B 世界への 入り口

# do it pro bono.